平成29年度 麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名(かわさきかえるプロジェクト)

事業名(未来につなぐ資源循環)

)事業の! 概 廃食油回収と「菜の花プロジェクト」を基本に、地産地消を楽しみながら、市民参加型の地域な 資源循環を実現する。

- 1. 菜の花プロジェクトによる台所からの温暖化ストップと CO₂削減の広報
- 2. 地域内資源循環への理解を深めるための環境教育プログラム・教材を作成
- 3. 立て看板による、菜の花プロジェクトの環境まちづくり推進情報の発信
- 4. 菜の花&廃食油回収ニュースレターの発行

取組の経過

取組に伴う効果

- 1. 菜の花プロジェクトによる台所からの温暖化ストッ プと CO2 削減の広報
- ① 「菜の花プロジェクト活動報告会」を8月30日(水) に開催、2017年度産菜種油を使った調理実習・試食 と活動報告を行った。麻生市民課料理室、24名参加。
- ② 親子企画「地産地消の料理教室<夏>」を 7 月 31 日(月)に開催、旬の地場野菜と菜種油でランチメ ニューを調理し、資源循環セミナーを行った。麻生 市民館料理室、33名参加。
- ③ 9月16日(土) 開催の「あさお子育てフェスタ」で 地域資源循環のアピールを行った。
- 2. 地域内資源循環への理解を深めるための環境教育プ ログラム・教材を作成
- ① 教材チームを作り、金程小学校鈴木教諭のご協力を 得て、小学校環境教育プログラムと冊子教材案を作 成した。
- ② 2016年秋に菜種の種まきを行った金程小学校で、6 | ●金程小学校では刈り取り、脱穀作業 月27日(火)に5年生を対象に実験授業を実施し た。
- ③ 8月31日(木)に小学校校長会にて、環境教育プロ グラム紹介を行った。
- 3. 立て看板による、菜の花プロジェクトの環境まちづ くり推進情報の発信
- ① 6月に菜の花プロジェクト圃場用看板20枚を作成し た。
- ② 10 月の種まきに協力くださる圃場に順次立てる予 定にしている。

- ●菜の花プロジェクトにかかわってい る行政、市民、地域生産者、研究機 関、地域活動支援センターの連携を 実感し、環境まちづくりの理解を深 めることができた。
- ●親子企画で麻生産菜種油と地場野菜 を使ったことで、地場産品への理解 を深めるとともに、菜の花プロジェ クトを通じた資源循環を伝え、せっ けんを使うことで環境保全への理解 を拡げることができた。
- ●「あさお子育てフェスタ」で多くの 子育て世代の区民に地域資源循環を アピールできた。
- も行い、体験を通した資源循環の授 業を行うことができた。
- ●搾油用の菜の花畑であり、地域資源 循環の取組を地域の市民に知らせる 効果が期待できる。

②上半期 (9月末まで) の事業の取組状況

- 4. 菜の花&廃食油回収ニュースレターの発行
- ① ニュースレターの発行:2017年7月、9月にこれまでの協力者、参加者を対象に送付した。(1回約370通)
- ② 町内回覧の実施:6月準備7月回覧、8月準備9月 回覧の2回実施した。

③課題と改善方法

- 1. 小学校教育現場で使用できる教材を作成し、校長会で紹介したが、授業実施の申し込みを得られていない。下期には小学校を訪問し、授業実施につなげたい。
- 2. 教材用に作成したパワーポイントや冊子教材は、親子企画での実施など、小学校以外での活用も検討していく。
- 3. 昨年より菜の花プロジェクトで連携をつくれている金程小学校で実験授業を行わせていただいた折に教材を仮印刷した。その後授業を振り返り手直しを加えて本印刷を行ったため、印刷経費が予算を超えている。

④下半期 (3月末まで)

の取組予定

- 1. 親子企画「地産地消の料理教室」 < 秋 > を 10 月 21 日 (土)、 < 冬 > を 2018 年 1 月 28 日 (日) に開催する。
- 2. フォーラムの開催: 2017 年度活動報告会を兼ねたフォーラムを 2018 年 2 月 10 日 (土) に 開催する。内容は 11 月に決定する。
- 3. 10 月 8 日 (日)「あさお区民まつり」、11 月 11 日 (土)「明治大学黒川農場収穫祭」、11 月 25 日 (土)「しんゆりマルシェ」に出展し、地域資源循環アピールを行う。
- 4. 菜の花プロジェクトの圃場用看板を、協力いただく圃場に立てていく。